



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月5日

上場取引所 名

上場会社名 コムシード株式会社
 コード番号 3739 URL <http://www.commseed.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部ゼネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 坂入 万弘
 (氏名) 小倉 誠
 配当支払開始予定日 未定
 TEL 03-5217-5814

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	565	△9.8	26	63.5	26	64.0	21	32.7
22年3月期第2四半期	626	—	16	—	16	—	16	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	575.53	—
22年3月期第2四半期	433.71	—

(注)22年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率につきましては、21年3月期第2四半期を連結として開示したため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	872	607	69.6	16,282.74
22年3月期	818	586	71.6	15,707.22

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 607百万円 22年3月期 586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200	△1.9	60	46.4	60	47.9	55	57.7	1,473.19

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 37,500株 22年3月期 37,500株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 166株 22年3月期 166株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 37,334株 22年3月期2Q 37,334株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当期の配当予想は現時点では未定であり、今後の業績等を総合的に勘案し配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに行う予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(第2四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 設備投資の計画	10
(3) その他	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期会計期間におけるわが国経済は、輸出の緩やかな増加や企業収益の改善などにより、一部に持ち直しの動きが見られたものの、急激な円高やデフレの影響、雇用情勢の悪化懸念などから、持続的な回復に向けては依然として不安を残した形で推移いたしました。

当社を取り巻く環境といたしましては、国内における第三代携帯電話等の高速データ通信が可能な端末の台数は1億1,345万件（前年同期比8.4%増）と増加を維持しております。モバイルコンテンツ市場におきましては、通信料金体系の変化等を背景に、引き続き堅調に推移いたしました。また、ソーシャルサービスが活性化しており、新たな成長カテゴリーとして期待されています。さらに、iPhoneやXperia等のスマートフォン（高機能携帯電話）の人気による買い換え需要も増大しており、新たな変革を迎えております。

このような状況のもと、携帯公式サイトでの会員数は若干減少いたしました。しかしながら、業務の効率化による経費の削減並びに当期よりサービスを開始したSNSサイト向けアプリケーションが利益を獲得しはじめたことなどにより、営業利益及び経常利益並びに当四半期純利益はともに前年同期を上回りました。引き続きSNSサイトやスマートフォン向け新規アプリケーションを多数配信予定であります。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は565,093千円（前年同四半期比9.8%減）、営業利益は26,963千円（前年同四半期比63.5%増）、経常利益は26,784千円（前年同四半期比64.0%増）、四半期純利益21,486千円（前年同四半期比32.7%増）となりました。

なお、当社はモバイル事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、事業におけるサービス分野別の取り組みは、以下のとおりであります。

モバイルコンテンツサービスにつきましては、当社オリジナルのパチンコ・パチスロ総合情報サイトである「パチンコ倶楽部」では、人気のパチンコアプリや電子書籍等の各種ダウンロードコンテンツ、パチンコ・パチスロ機種情報等を充実いたしました。メーカーオフィシャルサイトでは、パチンコ・パチスロの新機種導入時にタイムリーな情報提供を行った他、人気遊技機の携帯アプリの早期配信、携帯画面を楽しく演出するマチキャラやせかせかえコンテンツを充実するなど、サービスの拡充に取り組みました。

前期にサービスを開始した「宇宙戦艦ヤマト」及び人気恋愛ゲーム「eden*」の携帯公式サイトにつきましては、きせかえツールや着うた等をはじめとする新たなコンテンツ配信やサイト内コミュニティ機能の充実など、サービスを拡充いたしました。

当期より、新たにSNSと連携したサービスに取り組んでおります。株式会社ミクシィが提供するSNS「mixi」においては、パチンコ・パチスロファン向けソーシャルアプリ「攻略！みんなのパチ&スロ」を開始し、サービスを拡充しております。株式会社ディー・エヌ・エーが運営するケータイ総合ポータルサイト「モバゲータウン」内の仮想ホールでは、「CRシャカラッシュ」を投入し、順調に推移しております。さらに、新たに人気パチスロアプリ「南国育ち」を9月に投入いたしました。

また、スマートフォン向けアプリケーションの企画・開発についても、7月にAndroid版アプリケーション「南国育ちタイマー」の配信を皮切りに、同月にスロット設定判別のヒントが得られるiPhoneアプリケーション「ナイツール」の販売を開始するなど、新たな成長市場へコンテンツを続々と投入しております。

ソリューションサービスにつきましては、パチンコ店舗向けサービスでは、店舗向けASPサービス（有料店舗情報サービス）のラインナップの拡充、全国店舗への営業体制の強化を引き続き行いました。また、パチンコ・パチスロの勝ち負けをTwitter（ツイッター）上で報告しあうサービス「Pachitter（パチッター）」のリニューアルを行うなど、サービスを拡充いたしました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産に関する分析

（資産）

当第2四半期累計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて53,982千円増加し、872,805千円（前事業年度末比6.6%増）となりました。これは流動資産の増加68,901千円、固定資産の減少14,918千円によるものです。

（負債）

負債は、前事業年度末に比べて32,496千円増加し、264,905千円（前事業年度末比14.0%増）となりました。これは流動負債の増加34,812千円と固定負債の減少2,316千円によるものです。

（純資産）

純資産は、前事業年度末に比べて21,486千円増加し、607,899千円（前事業年度末比3.7%増）となりました。これは四半期純利益21,486千円の計上によるものです。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首残高から85,666千円増加し、当第2四半期累計期間末には401,234千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュフロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、55,200千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益22,621千円、減価償却費19,305千円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額4,883千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュフロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、13,489千円となりました。これは有形固定資産の取得による支出10,657千円、無形固定資産の取得による支出2,832千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュフロー）

当第2四半期累計期間における財務活動の結果得られた資金は、43,955千円となりました。これは短期借入による収入50,000千円の増加と、リース債務の返済による支出6,044千円の減少によるものです。

（3）業績予想に関する定性的情報

当事業年度の業績予想につきましては、最近の業績状況を踏まえ見直しを行った結果、平成22年5月13日に公表しました平成23年3月期第2四半期累計期間及び平成23年3月期通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成22年11月2日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②法人税等並びに繰延税金資産の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前事業年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1 四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2 四半期累計期間の営業利益及び経常利益が488千円減少し、税引前四半期純利益が5,372千円減少しております。また当会計基準等の適用開始により、投資その他の資産の「その他」が5,640千円減少しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	401,234	315,567
売掛金	258,553	281,432
商品及び製品	8,817	5,848
原材料及び貯蔵品	8,903	7,840
その他	38,263	36,157
貸倒引当金	△30	△8
流動資産合計	715,741	646,839
固定資産		
有形固定資産	22,741	19,883
無形固定資産	13,411	22,336
投資その他の資産		
その他	144,091	152,943
貸倒引当金	△23,180	△23,180
投資その他の資産合計	120,911	129,763
固定資産合計	157,064	171,983
資産合計	872,805	818,823
負債の部		
流動負債		
買掛金	146,062	164,585
短期借入金	50,000	—
未払法人税等	1,385	1,386
その他	28,100	24,763
流動負債合計	225,548	190,736
固定負債		
退職給付引当金	13,925	14,693
役員退職慰労引当金	19,329	19,329
その他	6,102	7,651
固定負債合計	39,357	41,673
負債合計	264,905	232,409
純資産の部		
株主資本		
資本金	568,883	568,883
利益剰余金	56,371	34,884
自己株式	△17,355	△17,355
株主資本合計	607,899	586,413
純資産合計	607,899	586,413
負債純資産合計	872,805	818,823

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	626,559	565,093
売上原価	400,038	348,476
売上総利益	226,520	216,617
販売費及び一般管理費	210,031	189,653
営業利益	16,489	26,963
営業外収益		
受取利息	184	92
その他	168	2
営業外収益合計	352	95
営業外費用		
支払利息	513	274
営業外費用合計	513	274
経常利益	16,328	26,784
特別利益		
投資有価証券売却益	—	721
特別利益合計	—	721
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,883
特別損失合計	—	4,883
税引前四半期純利益	16,328	22,621
法人税、住民税及び事業税	135	1,135
法人税等合計	135	1,135
四半期純利益	16,192	21,486

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	301,707	271,666
売上原価	198,391	168,593
売上総利益	103,316	103,072
販売費及び一般管理費	99,668	92,227
営業利益	3,647	10,845
営業外収益		
受取利息	108	61
その他	8	1
営業外収益合計	116	63
営業外費用		
支払利息	239	138
営業外費用合計	239	138
経常利益	3,524	10,770
特別利益		
投資有価証券売却益	—	721
特別利益合計	—	721
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,883
特別損失合計	—	4,883
税引前四半期純利益	3,524	6,608
法人税、住民税及び事業税	63	237
法人税等合計	63	237
四半期純利益	3,461	6,371

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	16,328	22,621
減価償却費	30,448	19,305
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,883
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△149	△768
受取利息及び受取配当金	△184	△92
支払利息	513	274
売上債権の増減額(△は増加)	42,791	20,845
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,661	△4,031
仕入債務の増減額(△は減少)	△30,556	△15,312
その他	△9,044	8,595
小計	52,808	56,322
利息及び配当金の受取額	184	92
利息の支払額	△513	△274
法人税等の支払額	△900	△939
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,578	55,200
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,625	△10,657
無形固定資産の取得による支出	△7,937	△2,832
投資有価証券の取得による支出	△3,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	0
出資金の払込による支出	△100	—
長期前払費用の取得による支出	△35,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,663	△13,489
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	50,000
リース債務の返済による支出	△6,401	△6,044
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,401	43,955
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,485	85,666
現金及び現金同等物の期首残高	366,996	315,567
現金及び現金同等物の四半期末残高	363,510	401,234

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

当第2四半期会計期間及の販売実績をサービス部門別に示すと、次のとおりであります。

サービス部門	当第2四半期会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
モバイルコンテンツサービス (千円)	264,866	89.4
ソリューションサービス (千円)	6,799	128.6
合計 (千円)	271,666	90.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 前第2四半期会計期間及び当第2四半期会計期間の主要な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)		当第2四半期会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	164,148	54.4	137,992	50.8
KDDI株式会社	77,137	25.6	72,883	26.8
ソフトバンクモバイル株式会社	43,310	14.4	34,535	12.7

(2) 設備投資の計画

当第2四半期会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

また、当第2四半期会計期間において、前四半期会計期間末において計画中であった重要な設備計画の変更は次のとおりであります。

なお、当社はモバイル事業の単一セグメントであるため、事業の種類別セグメントの名称は記載しておりません。

事業所名	所在地	設備の内容	投資予定金額		資金調達 方法	着手及び完了予定 年月		完成後の増加能力
			総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
本社データ センター	東京都江東区 有明	サーバー	20,000	10,657	自己資金	平成22年 7月	平成23年 2月 (注)	既存サービスの 向上と新規サー ビスに対応

(注) 当初の計画に比べ、完成予定年月日を平成22年9月から平成23年2月に変更しております。

(3) その他

① 決算日後の状況

特記事項はありません。

② 訴訟

当社は、株式会社サーゴ・インターナショナルに対し、「宇宙戦艦ヤマト復活篇」の公認WEBサイトの運営に関する許諾契約について、債務不履行による35,000千円のロイヤリティ返還請求の訴えを、平成21年11月18日に東京地方裁判所に提起し、現在係争中であります。当社としては、勝訴するものと判断しており、引き続き裁判手続きにおいて当社の正当性を主張していく所存であります。

なお、四半期報告書提出日現在において、四半期報告書に重要な影響を及ぼす事実はありません。